

長崎外国語大学 成績評価ガイドライン

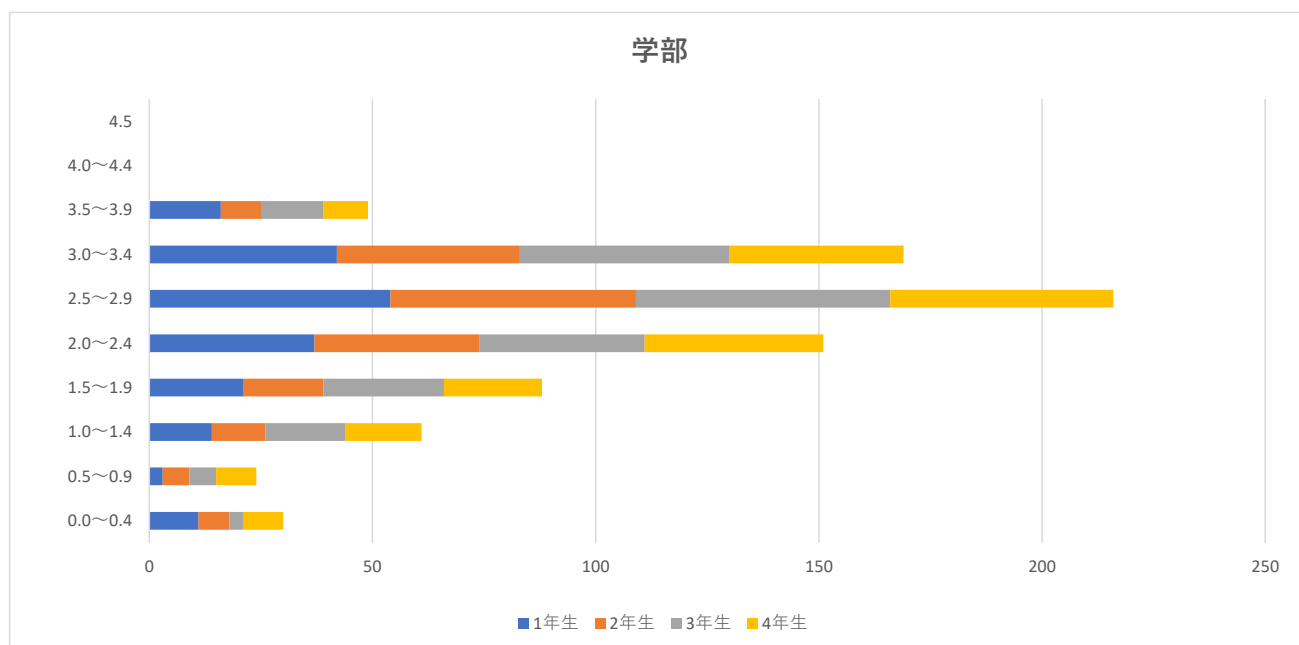
判定	評点	評定	f - GP	成績評価内容の基準
合格	90~100	秀	3.5~4.5	授業科目の内容を修得し、その到達目標を優れて満たす。 また、主体的学修の成果も優れて認めることができる。
	80~89	優	2.5~3.4	授業科目の内容を修得し、その到達目標を十分に満たす。 また、主体的学修の成果も認めることができる。
	70~79	良	1.5~2.4	授業科目の内容を修得し、その到達目標を概ね満たす。 また、主体的学修の成果も十分ではないが認めることができる。
	60~69	可	0.5~1.4	授業科目の内容を修得し、その到達目標を必要限度満たす。
不合格	59点以下	不可	0	授業科目の内容を修得したと認められず、到達目標の必要限度も満たさず。

2019年度学年別累積「f-GPA」人数表  
(学部)

下位4分の1  
GPA1.99以下

学年	0.0~0.4	0.5~0.9	1.0~1.4	1.5~1.9	2.0~2.4	2.5~2.9	3.0~3.4	3.5~3.9	4.0~4.4	4.5	計人数
1年生	11	3	14	21	37	54	42	16	0	0	198
2年生	7	6	12	18	37	55	41	9	0	0	185
3年生	3	6	18	27	37	57	47	14	0	0	209
4年生	9	9	17	22	40	50	39	10	0	0	196
計	30	24	61	88	151	216	169	49	0	0	788

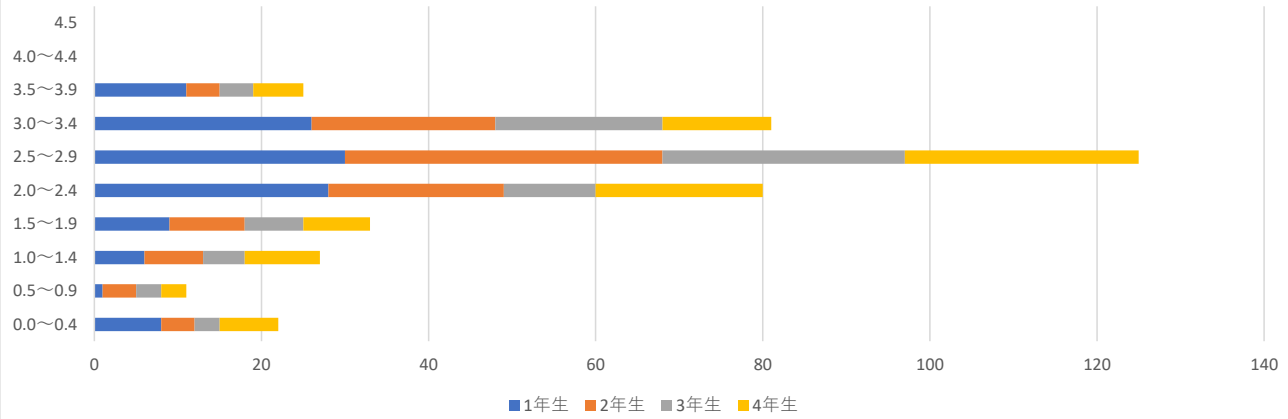
※2019年度1年生における下位4分の1：累積GPA1.99以下 (49名)



(現代英語学科)

学年	0.0~0.4	0.5~0.9	1.0~1.4	1.5~1.9	2.0~2.4	2.5~2.9	3.0~3.4	3.5~3.9	4.0~4.4	4.5	計人数
1年生	8	1	6	9	28	30	26	11	0	0	119
2年生	4	4	7	9	21	38	22	4	0	0	109
3年生	3	3	5	7	11	29	20	4	0	0	82
4年生	7	3	9	8	20	28	13	6	0	0	94
計	22	11	27	33	80	125	81	25	0	0	404

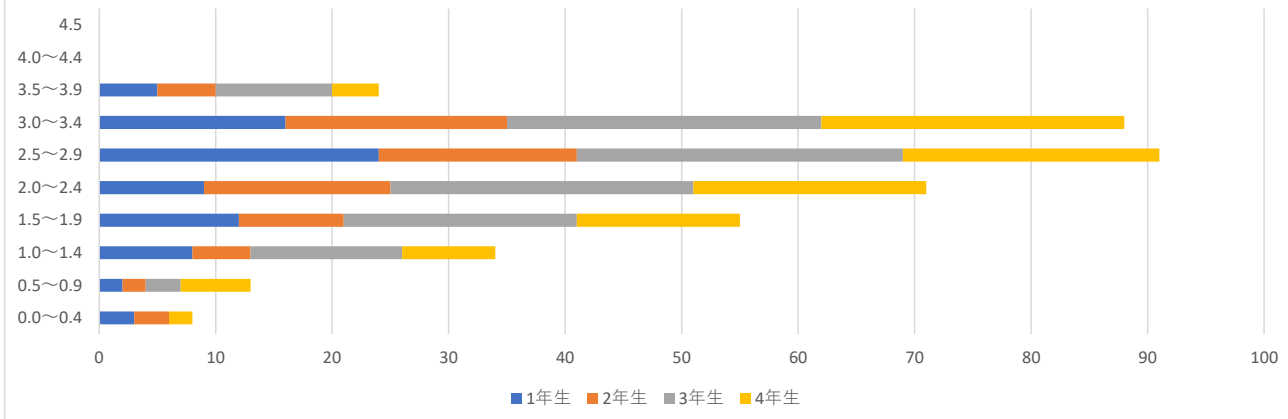
### 現代英語学科



### (国際コミュニケーション学科)

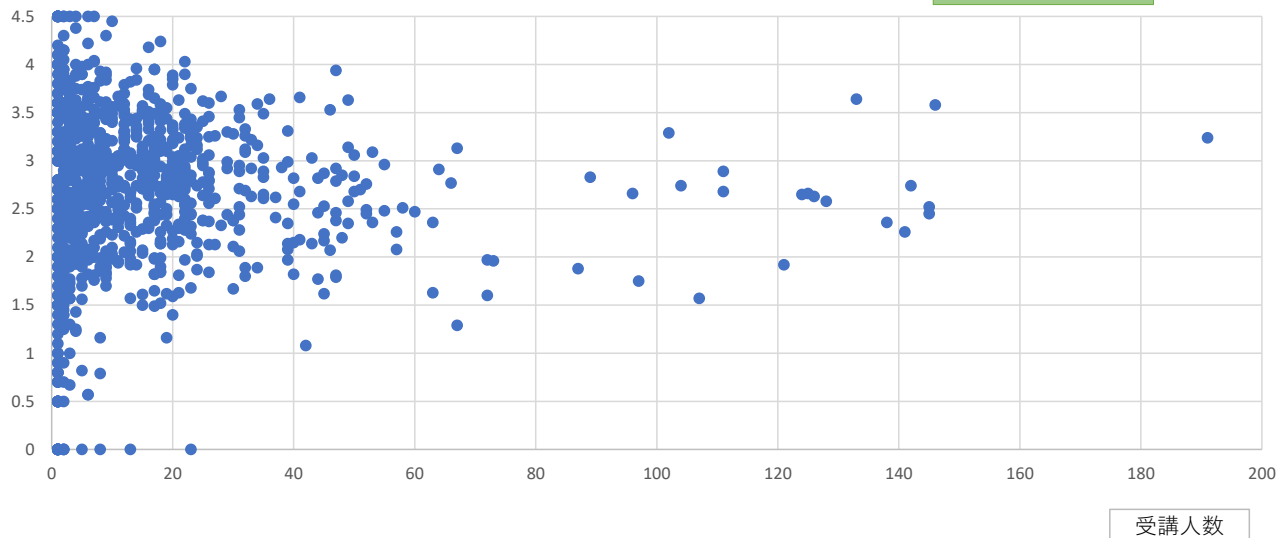
学年	0.0~0.4	0.5~0.9	1.0~1.4	1.5~1.9	2.0~2.4	2.5~2.9	3.0~3.4	3.5~3.9	4.0~4.4	4.5	計人数
1年生	3	2	8	12	9	24	16	5	0	0	79
2年生	3	2	5	9	16	17	19	5	0	0	76
3年生	0	3	13	20	26	28	27	10	0	0	127
4年生	2	6	8	14	20	22	26	4	0	0	102
計	8	13	34	55	71	91	88	24	0	0	384

### 国際コミュニケーション学科



### 2019年度受講人数別科目StrictGPA平均散布図

GP総平均 = 2.43



本学では上掲の成績評価ガイドラインに従い、試験、レポート、小テストのみならず、報告・発表、反転授業などのアクティブラーニング手法による授業への参加状況といった、多様な評価方法により、各授業科目の形態、内容、目標に応じ、一つによらず、複数の方法を選択して授業評価を行っている。

以下では上掲の表・グラフの集計結果に基づき、累積f-GPAによる成績分布状況についてコメントを行う。

#### (1) 学部

学部全体では、全学年の合計人数788名の内、536名(68%)がf-GPA「2.0~3.4」の範囲に収まった。すなわち、7割に近い学生が本学の評定では「良」から「優」(素点75~89)までの成績を収めていることになる。さらにf-GPA「3.5~3.9」(評定で「秀」相当、素点は90~100)の学生は全学年合計で49名(6.2%)おり、これを加えると585名(74.2%)に達する。以上から見ると本学の学生の7割5分弱は、授業科目の内容の修得及び主体的学修において良好な成果を収めているとみなすことができる。一方、2割5分強の203名(25.7%)の学生がf-GPA「0~1.9」(評定「不可」「可」「良」、素点で0~74)の範囲となっており、こうした成績不振の学生の成績向上に向けた効果的な施策が求められる。

学年別でみると、1年生は計198名の内、133名(67.1%)が「2.0~3.4」、16名(8%)が「3.5~3.9」、これを合計すると149名(75.2%)、「0~1.9」の学生は49名(24.7%)。2年生は計185名の内、133名(71.8%)が「2.0~3.4」、9名(4.8%)が「3.5~3.9」、これを合計すると142名(76.7%)、「0~1.9」の学生は43名(23.2%)。3年生は計209名の内、141名(67.4%)が「2.0~3.4」、14名(6.6%)が「3.5~3.9」、これを合計すると155名(74.1%)、「0~1.9」の学生は54名(25.8%)。4年生は計196名の内、129名(65.8%)が「2.0~3.4」、10名(5.1%)が「3.5~3.9」、これを合計すると139名(70.9%)、「0~1.9」の学生は57名(29%)。

以上学年別の成績分布状況の結果を見ると、学年間に若干の差異は見られるものの、概ね全学年で見た時と同じ分布状況が認められる。

#### (2) 現代英語学科

現代英語学科の全学年では、合計人数404名の内、286名(70.7%)が「2.0~3.4」、25名(6.1%)が「3.5~3.9」、これを合計すると311名(76.9%)、「0~1.9」の学生は93名(23%)。

学年別でみると、1年生は計119名の内、84名(70.5%)が「2.0~3.4」、11名(9.2%)が「3.5~3.9」、これを合計すると95名(79.8%)、「0~1.9」の学生は24名(20.1%)。2年生は計109名の内81名(74.3%)が「2.0~3.4」、4名(3.6%)が「3.5~3.9」、これを合計すると85名(77.9%)、「0~1.9」の学生は24名(22%)。3年生は計82名の内、60名(73.1%)が「2.0~3.4」、4名(4.8%)が「3.5~3.9」、これを合計すると64名(78%)、「0~1.9」の学生は18名(21.9%)。4年生は計94名の内、61名(64.8%)が「2.0~3.4」、6名(6.3%)が「3.5~3.9」、これを合計すると67名(71.2%)、「0~1.9」の学生は27名(28.7%)。

以上、現代英語学科の成績分布状況においては、学部全体で見たよりもややf-GPA「2.0」以上の学生が多いということと、学年間で若干の差異が見られるものの、概ね学部全体で見た時と同じ分布状況が認められる。

#### (3) 国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科の全学年では、合計384名の内、250名(65.1%)が「2.0~3.4」、24名(6.2%)が「3.5~3.9」、これを合計すると274名(71.3%)、「0~1.9」の学生は110名(28.6%)。

学年別でみると、1年生は計79名の内、49名(62%)が「2.0~3.4」、5名(6.3%)が「3.5~3.9」、これを合計すると54名(68.3%)、「0~1.9」の学生は25名(31.6%)。2年生は計76名の内、52名(68.4%)が「2.0~3.4」、5名(6.5%)が「3.5~3.9」、これを合計すると57名(75%)、「0~1.9」の学生は19名(25%)。3年生は計127名の内、81名(63.7%)が「2.0~3.4」、10名(7.8%)が「3.5~3.9」、これを合計すると91名(71.6%)、「0~1.9」の学生は36名(28.3%)。4年生は計102名の内、68名(66.6%)が「2.0~3.4」、4名(3.9%)が「3.5~3.9」、これを合計すると72名(70.5%)、「0~1.9」の学生は30名(29.4%)。

以上、国際コミュニケーション学科の成績分布状況においては、学部全体で見た時よりもややf-GPA「2.0」以上の学生の数が少ないことと、学年間で若干の差異が見られるが、概ね学部全体で見た時と同じ分布状況が認められる。

以上の結果から、本学における成績分布状況においては、全体的にみて7割以上の学生がf-GPA「2.0」以上の成績分布に収まり、おおむね良好な成績を得ていると判断できる。